

西宮渡辺脳卒中・心臓リハビリテーション病院 形成外科・美容医療センター

最適な治療を良心的な価格で提供 \* \* \*

当センターではケガやできものなどを治療する形成外科だけでなく、さらにキレイにした  
い方々のご希望にお答えする美容外科・美容皮膚科として、保険診療・自費診療両方の診  
療ができることが当院の特徴です。患者様目線での安心・安全な医療を、真摯かつ誠実  
に提供したいと思っております。ぜひお気軽にご相談下さい。



お問い合わせ  
0798-39-0215

診療科目

- 形成外科(保険適応): 皮膚腫瘍切除、ケガ・傷跡、眼瞼下垂、腋臭症(わきが)手術、陥没乳頭
- 美容外科: 二重瞼術(埋没法・切開法)、まぶたの手術、婦人科形成(陰唇形成・乳頭縮小)
- 美容皮膚科: しみ・くすみ、ニキビ跡、美肌、ヒアルロン酸注入、ボトックス注射、医療脱毛(学生限定割引あり)、AGA、ピアス

導入施術

Qスイッチレーザー、炭酸ガスレーザー、YAGレーザー、IPL、ダーマペン、ピーリング、イオン導入

取り扱い製品

ゼオスキン、ラロッシュポゼ、ナビジョン、ラシャスリップス、ビューティフルスキン など

西宮渡辺 心臓脳・血管センター 「健康館」で実施! ご予約・お問合せ 0798-36-1860

クイック脳ドック

検査から結果説明まで最短約60分!  
当日中に結果が分かります!



脳ドックで発見できる病気

- 脳梗塞
- 脳腫瘍
- 脳動脈瘤
- 脳出血
- もやもや病
- 等

検査項目

- 血液検査
- MRI検査(単純)
- 栄養相談

脳梗塞・心筋梗塞が心配な方に

LOX-index [ロックス・インデックス]

動脈硬化の進行から将来の脳梗塞、心筋梗塞の発症までを予測できる新しい血液検査です。

リスクを知ることによって予防対策が可能です。

このような方にお勧め

- 血縁家族に脳梗塞・心筋梗塞にかかった人がいらっしゃる方
- 高血圧、脂質異常症、糖尿病にかかっており、動脈硬化が気になる方
- 40歳以上の方



認知症の予防を始めてみませんか?

認知症早期発見に役立つMCIスクリーニング検査をオススメします。

こんなこと気になりませんか?

- 同じことを何度も聞く
- 人の名前が憶えられない
- 物をよく探す
- 新しいことを始めるのを嫌がる
- 趣味に対する熱意が低下

MCI(軽度認知障害)とは?

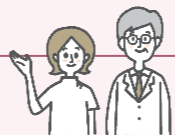
認知症の前段階です。日常生活に支障はありませんが、適切な予防を行わずに経過すると、5年で半数以上の方が認知症に進行すると言われてます。

法人関連施設

- 社会医療法人 渡邊高記念会 / 西宮渡辺病院 / 西宮渡辺心臓脳・血管センター / 西宮渡辺脳卒中・心臓リハビリテーション病院 / 西宮渡辺心臓リハビリクリニック / ハートケア西宮わたなべ福祉の郷 / 定期巡回・随時対応型訪問介護看護事業所わたなべ / グループホーム西宮わたなべ / サービス付高齢者向け住宅ひだまり / すくすく保育 / 訪問看護ステーション西宮わたなべ / 居宅介護センター西宮わたなべ / 西宮渡辺ヘルパーステーション / 健康塾 / 西宮市中央在宅療養相談支援センター / 西宮渡辺心臓脳・血管センター附属訪問看護ステーション
- 社会福祉法人 高明会 / シルバートピア西宮 / 訪問看護ステーションまえばま / 居宅介護支援センターはまかぜ

わたなべニュースに対する皆様よりのご意見・ご感想をお待ちしております。

当院各階詰所・1F受付に設置しております「ご意見箱」をご利用ください。



【発行元】社会医療法人 渡邊高記念会 法人本部 【TEL】0798-74-2630 【FAX】0798-74-7257 【URL】http://www.n-watanabe-hosp.jp/

わたなべニュース

Nishinomiya Watanabe Hospital Public Relations Magazine

西宮渡辺心臓脳・血管センター TAVIについて

西宮渡辺心臓脳・血管センター 院長 民田 浩一

2020年11月より経カテーテル大動脈弁置換術(TAVI)の施設認定を受け、治療を開始しています。

大動脈弁狭窄症は、心臓弁膜症の一つで症状が出現すると急激に進行し、心不全を繰り返し日常生活が困難になったり、突然死などのリスクが高い病期です。原因としては、主に加齢現象があげられ、大動脈弁が硬化し、開放の制限が生じます。つまり高齢者に多い心臓弁膜症ということになります。

これまで大動脈弁狭窄症に対する治療は、外科的大動脈弁置換術(SAVR)という開胸手術で、人工心肺装置を用いて心臓を一時的に停止させ心臓を露出し、狭窄している大動脈弁を人工弁(機械弁や生体弁)に取り替えるというものでした。

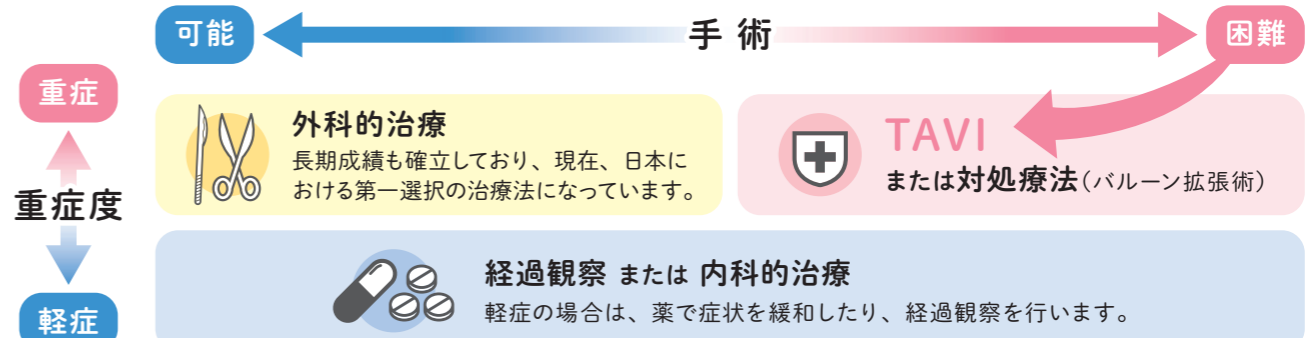
この手術は、術式が確立しており、確実に安全性の高い心臓手術です。しかし、ご高齢の方や癌・腎臓病・肝臓病などの併存疾患のある方、すでに開胸手術や放射線治療の既往のある方やステロイドなどの免疫抑制剤を内服している方においては外科的手術のリスクが高くなり、手術の選択が困難なことがあります。

そのような手術のリスクが高い患者様を対象にした治療が経カテーテル大動脈弁置換術(TAVI)です。手術室にカテーテル検査台のあるハイブリッド手術室に

おいて循環器内科医と心臓血管外科医を始め麻酔科医、心エコー専門医、看護師、臨床工学技士、放射線技師、その他コメディカルからなるハートチームで行われます。

大腿動脈あるいは、小切開による心尖部、大動脈よりカテーテルを挿入し、折りたたまれてカテーテル上にマウントされた人工弁を大動脈弁の位置で拡張させます。開胸手術や人工心肺装置を必要とせず、身体への負担が少なく早期に社会復帰が可能となります。

大動脈弁の病気に限らず、心臓弁膜症の患者様の治療については、弁膜症外来・ハートチームでの弁膜症カンファレンスにより治療方針を総合的に判断していきますのでいつでもご紹介いただければと思います。





令和2年12月から、毎月第4土曜日にリウマチ・膠原病外来を担当しております佐野 統(さの はじめ)です。私は、昭和53年に京都府立医科大学を卒業し、京都大学で医学博士を修得、米国NIHリウマチ部門へ留学、帰国後、京都府立医大第一内科講師を経て、平成14年9月から兵庫医科大学リウマチ・膠原病科の主任教授を15年6カ月間勤めました。専門はリウマチ学、免疫学です。日本リウマチ学会近畿支部長を6年間務めました。兵庫医大では地域の開業医の先生方と緊密な病診連携を行い、リウマチ性疾患の外来患者数は西日本で一番に致しました。

■ リウマチ・膠原病科/外来診療表

	月	火	水	木	金	土
午前	西岡				西岡	佐野 ※第4週
午後				西岡		

本院ではこの地域のリウマチ・膠原病患者さんに適格な診断を下し、疾患活動性の評価を行い、患者さんと相談しながら最善の治療を行いたいと思います。また、必要に応じて兵庫医大との連携も取りたいと考えております。

何卒宜しくお願い申し上げます。

西宮渡辺心臓脳・血管センターでも

心療内科の診察を行っております!

当センターの心療内科は現在、専門医含む医師2名、臨床心理士1名体制で診療を行っています。身体的理由がない場合には当科での入院は受け入れておりませんが、入院中の方で、身体疾患の治療に支障を及ぼす様々な精神的・心理的問題へのサポートを行っています。外来では気分障害や不安障害、思春期・青年期のストレス関連障害の診療や、認知症の初期診断も行っています。精神的・心理的な問題も抱えられている心臓血管系のご病気をお持ちの方や、体の不調が心臓血管系の問題によるものか精神・心理的な理由によるものかわかれる場合にはぜひご相談下さい。

■ 心療内科/外来診療表

	月	火	水	木	金	土
午前	橋本	林				

お問合せ 0798-36-1860

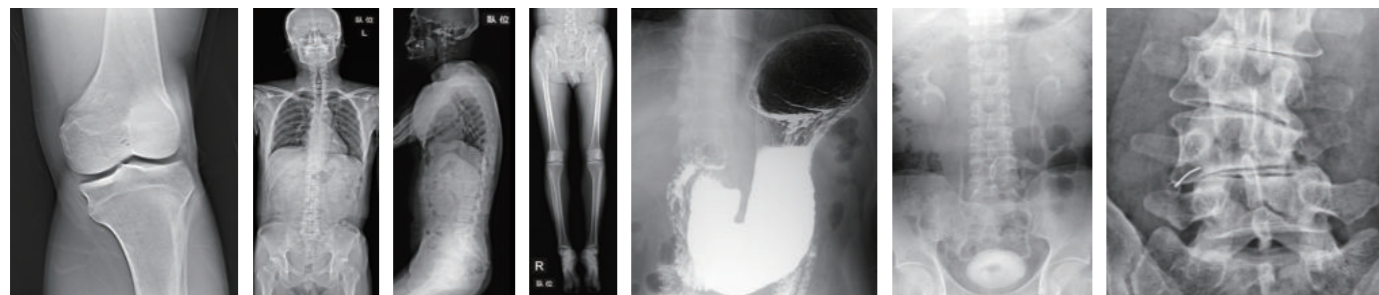


西宮渡辺病院における新しい透視装置の紹介

2008年から使用してきたHITACHI社の透視装置CUREVISTAに替わり、2021年1月に同社のCUREVISTA OPENに更新されました。この装置は、従来からの胃や腸などの消化器領域だけでなく、整形外科領域での長尺撮影や断層撮影アプリケーションを搭載しており、今後さまざまな検査での使用方法が期待されています。



- 断層撮影：非常に高精細であるため、微細な骨折の診断機能の向上が期待できます。
- 全脊椎、下肢の撮影：患者様は動くことなく、ベット上で全身の撮影が可能となります。



断層撮影(膝) 全脊椎正面像 側面像 下肢(足全体) 胃透視検査 DIP(点滴注入腎盂造影法) 神経根ブロック

撮影する画像は高精細でありながら、今まで以上にX線被ばくを減らすことができ、患者さまにも医療スタッフにも安全安心の装置となっています。



西宮渡辺病院 消化器内科・内視鏡室ご紹介

2019年4月より消化器内科医として勤務を開始いたしました。2019年度までは本郷部長、丁部長と私、および非常勤医にて内視鏡業務を担当して参りましたが、両部長の退職にともない、2020年度より私と2020年4月より勤務されました吉安医師にて内視鏡業務担当しております。2018年度は内視鏡件数は計1243例でしたが、2019年度は胆膵内視鏡も開始し、処置内視鏡数とともに全内視鏡件数は大幅増の1543件となりました。

治療内視鏡件数も大幅に増加し大腸ポリープ切除術は129例、大腸ステント留置術は2例、胆膵内視鏡は後半4か月のみでしたが9件となっております。

2020年度はコロナウイルスの影響もあり、3~6月期の内視鏡件数は著しく減少しましたが、その間にも必要な緊急内視鏡を実施し、大腸検査にいたっては昨年度を超える予想です。

当院の特徴といたしましては、消化器外科、内科の連携によりスムーズな検査治療への対応が可能な点だと考えております。また内視鏡室については専門の看護師及び臨床工学技士が検査補助にあたることで、安心安全な検査、治療を心掛けております。貧血のある患者様、腹部症状のある患者様への安心安全な検査治療を今後も心掛けてまいりますので、今後とも当科をよろしくお願いたします。

	2018	2019	2020 (10月)
食道癌	0件	4件	0件
胃癌	9件	21件	11件
大腸癌(悪性リンパ腫含む)	22件	20件	30件
喉頭及び咽頭腫瘍	0件	3件	1件
十二指腸腫瘍	0件	4件	2件

	2018	2019	2020 (10月)
上部内視鏡	937件	1117件	754件
下部内視鏡	306件	426件	370件
ポリープ切除	不明	129件	142件
大腸ステント留置	0件	2件	5件
経鼻イレウス管挿入	0件	9件	7件
経肛門的イレウス管挿入	0件	1件	0件
異物除去	0件	1件	1件
止血術	0件	3件	4件
バルーン拡張術	0件	3件	1件
胃瘻造設	不明	31件	28件
胃瘻交換	不明	28件	17件

部署紹介

西宮渡辺心臓脳・血管センター ICU

西宮渡辺心臓脳・血管センターICUは、病床数12床の集中治療管理を目的とした患者様が入室する病棟です。急性心筋梗塞、重症心不全、高度医療機器(PCPS・IABP・HD・CHDFなど)のサポートを必要とする患者様や心臓血管外科や脳神経外科の術後、緊急心臓カテーテル術後の緊急性・急変リスクの高い患者様が入室されています。

毎朝、ウォーキングカンファレンスを通して医師・看護師・薬剤師・臨床工学技士・臨床心理士・リハビリ・栄養士等と連携し、患者様やご家族様が安心して治療を受けられるように質の高い看護実践を目指しています。

これからも患者様やご家族様に「この病院で治療を受けて良かった。」と思っていただけるよう、チーム医療を推進していきたいと思っています。

(西宮渡辺心臓脳・血管センター ICU看護師長 中津 春美)

